

26初教課第40号
平成26年12月4日

各都道府県・指定都市教育委員会指導事務主管課長
附属学校を置く各国立大学法人附属学校事務主管課長
○各都道府県私立学校事務主管課長
各都道府県・指定都市文化行政事務主管課長

殿

文部科学省初等中等教育局教育課程課長

塩見 みづ枝



(印影印刷)

コミュニケーション教育普及協議会～コミュニケーション教育フェスタ～
の開催について（依頼）

日頃より、コミュニケーション教育の推進に御尽力いただき、誠にありがとうございます。

文部科学省では、平成22年度より、「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験事業」を実施しているところですが、本事業の成果や課題の共有等を図り、子供たちのコミュニケーション能力の育成に資することを目的として、標記協議会を別添実施要項のとおり開催しますので、関係者への周知並びに参加者の報告についてよろしくお取り計らい願います。

(送付資料)

- コミュニケーション教育普及協議会実施要項
- 参加者報告要領（別紙1）
- 会場への案内図（別紙2）
- 参加者名簿（別紙様式1）

(参考資料)

- 平成26年度【児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験】について

【本件担当】

文部科学省初等中等教育局教育課程課
教育課程第三係 栗林, 川本

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

TEL:03-5253-4111 (内線2076,3706)

FAX:03-6734-3734

E-mail:kyoiku@mext.go.jp

コミュニケーション教育普及協議会 実施要項

～コミュニケーション教育フェスタ2014～

平成26年12月4日
初等中等教育局
教育課程課長決定

1 目的

21世紀は、「知識基盤社会」の時代であるとともに、社会構造のグローバル化が一層進む時代である。それは、多様な価値観が存在する中で、自分とは異なる文化や歴史に立脚する人々とともに、それぞれ異なる意見や考え、アイデアなどを交換し、唯一の正解のない課題や経験したことのない課題を解決していかなければならない多文化共生の時代でもある。

このような21世紀を生きる子供たちは、積極的な「開かれた個」（自己を確立しつつ、他者を受容し、多様な価値観をもつ人々とともに思考し、協力・協働しながら課題を解決し、新たな価値を生み出しながら社会に貢献することができる個人）であることが求められる。

その一方で、近年の子供たちは気の合う限られた集団の中でのみコミュニケーションをとる傾向が見られ、また、コミュニケーションをとっているつもりが、実際は自分の思いを一方向的に伝えているにすぎない場合が多いなどの指摘がある。

このような状況を踏まえ、子供たちのコミュニケーション能力の育成に資することを目的として、次の趣旨の下、コミュニケーション教育普及協議会を実施する。

- 〔児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験〕（以下「本事業」という）の実施に当たっての趣旨の理解を深め、適正な実施に資すること。
- 本事業のこれまでの成果や課題等を共有することにより、今後の効果的な取組に資すること。
- 本事業の教育的効果や指導方法の要点等を共有し、コミュニケーション教育の普及を行うこと。

2 主催

文部科学省

3 開催期日

平成27年2月13日(金)

4 会場

<午前> 杉並区立富士見丘小学校

東京都杉並区上高井戸2-16-13 TEL 03-3333-7028

<午後> 吉祥寺東急イン 3階「むさしの」

東京都武蔵野市吉祥寺南町1-6-3 TEL 0422-47-0109

※ 各会場の地図・交通アクセスについては、別紙2を参照のこと。

5 プログラム

10:00～10:30	受付	
10:30～12:05	ワークショップ見学	杉並区立富士見丘小学校
12:05～13:30	休憩・移動	
13:30～13:40	開会挨拶	文部科学省
13:40～13:55	事例発表①	熊本市立江南中学校
13:55～14:10	事例発表②	特定非営利活動法人芸術家と子どもたち
14:10～14:20	休憩・準備	
14:20～15:20	グループ協議	参加者全員
15:20～16:00	講演	青山学院大学社会情報学部教授 荻宿 俊文氏
16:00～16:10	閉会挨拶	文部科学省

※ 上記のプログラムは予定であり、内容や時間が一部変更となる場合があります。

※ 確定したプログラムは、参加者の決定通知（平成27年1月末発出予定）とともにお知らせします。

※ 本協議会は、部分参加（途中出席・途中退席）を可能としますが、ワークショップ見学のみの参加は御遠慮いただくようお願いします。

6 参加者

(1) 参加対象者

- ① 都道府県・市区町村教育委員会、都道府県私立学校担当部局、都道府県・市区町村文化行政事務主管課等における担当者
- ② 国公立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教職員等
- ③ 特定非営利活動法人・劇場等の芸術団体関係者、学校と芸術家等とのコーディネート業務を担う団体等
- ④ その他、文部科学省が認める者

※ ①の各市区町村教育委員会担当者（指定都市を除く）に対する周知は当該都道府県教育委員会において、①の各市区町村文化行政事務主管課担当者（指定都市を除く）に対する周知は当該都道府県文化行政事務主管課において、②の公立学校教職員に対する周知は当該学校を設置する教育委員会において、②の私立学校教職員に対する周知は当該都道府県私立学校担当部局において、③の芸術団体関係者及び学校と芸術家等とのコーディネート業務を担う団体等に対する周知は文化行政を所管する当該都道府県・市区町村教育委員会又は当該都道府県・市区町村文化行政事務主管課等において、それぞれ行ってください。

(2) 参加手続

(1)の①、②及び③の参加者については、別紙1により、平成27年1月23日（金）まで【期限厳守】に報告してください。

なお、(1)の①の市区町村教育委員会担当者（指定都市を除く。）及び②の公立学校教職員（指定都市を除く。）の参加者は当該都道府県教育委員会において、②の指定都市の公立学校教職員の参加者は当該指定都市教育委員会において、②の私立学校教職員の参加者は当該都道府県私立学校担当部局において、③の芸術団体関係者及び学校と芸術家等とのコーディネート業務を担う団体等の参加者は文化行政を所管する当該都道府県・市区町村教育委員会又は当該都道府県・市区町村文化行政事務主管課等において、それぞれ取りまとめて報告してください。

(3) 旅費

国による旅費の負担はありませんので御留意ください。

(4) 参加予定人数

150名程度

※ 都道府県ごとの参加者数の上限は設けておりませんが、参加者数が会場の収容人数を超えた場合は、調整させていただくことがあります。

7 グループ協議

参加希望者は、グループ協議のテーマを以下の①～④から選び、参加申込の際に申請してください。取りまとめを行う都道府県・指定都市の連絡担当者は、参加者名簿に①～④の記号を漏れなく記入してください。(別紙1参照)

	協議テーマ	主な意識・疑問・関心
①	芸術表現体験を生かす指導について	・「芸術表現体験を生かす上で、学級担任等が日常の指導において心掛けることは何か」 ・「子供たちの気付きや学びを定着させるためのよりよい指導を知りたい」
②	子供たちを観察する観点について	・「ワークショップ等に参加する児童生徒の言動のどのような点を観察すればよいか」 ・「創作的な場面における子供たちの話し合いをどのように支援すればよいか」
③	教育課程における位置付けについて	・「学校や子供たちの状況を基に、どのように芸術表現体験を組み入れればよいか」 ・「各教科等との関連をどのように考えていけばよいか」
④	学校、教育委員会、芸術家・団体等の連携について	・「学校と芸術家・コーディネート団体等が円滑な連携をするために必要なことは何か」 ・「学校のニーズと芸術家・団体等の提供できるプログラムをどのようにすり合わせるか」

8 その他

各都道府県・指定都市教育委員会等においては、本協議会の成果を域内の学校へ広く普及できるよう工夫してください。また、学校と芸術家等とのコーディネート業務を担う団体等においては、本協議会の成果を今後の事業の実施に生かすよう努めてください。

コミュニケーション教育普及協議会 参加者報告要領

- 以下の要領で参加者名簿を作成し、作成した名簿は、平成27年1月23日(金)までに下記担当宛てに電子メールにて送信してください。

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教育課程第三係 栗林, 川本
 電子メール: kyoiku@mext. go. jp
 TEL: 03-5253-4111 (内線 2076, 3706)

- 参加者名簿は、【別紙様式1】を基に以下の例のとおり作成してください。
 <名簿作成例>

	A	B	C	D	E	F	G
1	区市番号	区市名	氏名	所属・職名	グループ協議テーマ	部分参加	備考
2	00	〇〇県	〇〇 〇〇	〇〇県教育委員会●●課 指導主事	③		
3	00	〇〇県	△△ △△	△△町教育委員会▲▲課 指導主事	④		
4	00	〇〇県	◇◇ ◇◇	◇◇町立◆◆小学校 教諭	①	○	11:30から
5	00	〇〇県	☆☆ ☆☆	◇◇町立□□中学校 教諭	②		
6	00	〇〇県	〇〇 △△	NPO法人☆☆ 実演家	④		
7	連絡担当者		□□ □□	〇〇県教育委員会●●課 指導主事	電子メール	abcde@pref. jp	

- ※ 1列目(A列)には都道府県・指定都市番号を半角数字で、2列目(B列)には都道府県・指定都市名を記入すること。いずれも全員について記入することとし、空白や「/」などとはしないこと。「都」「道」「府」「県」「市」は省略しないこと。
- ※ 3列目(C列)には氏名を、4列目(D列)には所属及び職名を記入すること。姓と名の間及び所属と職名の間は空白(全角)とすること。
- ※ 5列目(E列)には、参加希望者が申請したグループ協議テーマを入力する。ドロップダウンリストから①～④の記号を選ぶこと。
- ※ やむを得ず部分参加(途中出席・途中退席)となる場合は、6列目(F列)に「○」と記入し、7列目(G列)に途中出席又は途中退席する時間を御記入ください。
- ※ 最終行には、本件の連絡担当者の氏名、所属・職名、電子メールアドレスを記入すること。参加者である場合も再掲すること。
- ※ 外字は使用しないこと。代替可能な文字がない場合は、メールで送信するファイルにおいては当該文字を「?」とし、紙媒体に当該文字を手書きで記入し、ファックスにて送付すること。

- ファイル名、電子メールの件名はともに、「都道府県・指定都市番号(半角数字)+都道府県・指定都市名+【コミュフェス名簿】」としてください。
 (例: 13東京都【コミュフェス名簿】)

- 【別紙様式1】の電子ファイルを希望する場合は、教育課程課メールアドレス(kyoiku@mext. go. jp)宛てに、件名を「コミュフェス名簿様式希望」としてメールを送信してください。こちらから様式の電子ファイルを返信いたします。

【都道府県・指定都市番号】

01	北海道	02	青森県	03	岩手県	04	宮城県
05	秋田県	06	山形県	07	福島県	08	茨城県
09	栃木県	10	群馬県	11	埼玉県	12	千葉県
13	東京都	14	神奈川県	15	新潟県	16	富山県
17	石川県	18	福井県	19	山梨県	20	長野県
21	岐阜県	22	静岡県	23	愛知県	24	三重県
25	滋賀県	26	京都府	27	大阪府	28	兵庫県
29	奈良県	30	和歌山県	31	鳥取県	32	島根県
33	岡山県	34	広島県	35	山口県	36	徳島県
37	香川県	38	愛媛県	39	高知県	40	福岡県
41	佐賀県	42	長崎県	43	熊本県	44	大分県
45	宮崎県	46	鹿児島県	47	沖縄県	48	札幌市
49	仙台市	50	さいたま市	51	千葉市	52	川崎市
53	横浜市	54	相模原市	55	新潟市	56	静岡市
57	浜松市	58	名古屋市	59	京都市	60	大阪市
61	堺市	62	神戸市	63	岡山市	64	広島市
65	北九州市	66	福岡市	67	熊本市		

コミュニケーション教育普及協議会～コミュニケーション教育フェスタ2014～
会場への案内図

杉並区立富士見丘小学校

東京都杉並区上高井戸
2-16-13
TEL 03-3333-7028

<最寄り駅から>
京王井の頭線
富士見ヶ丘駅から徒歩約10分
高井戸駅から徒歩約20分

※首都高速4号新宿線の高井戸
IC南側

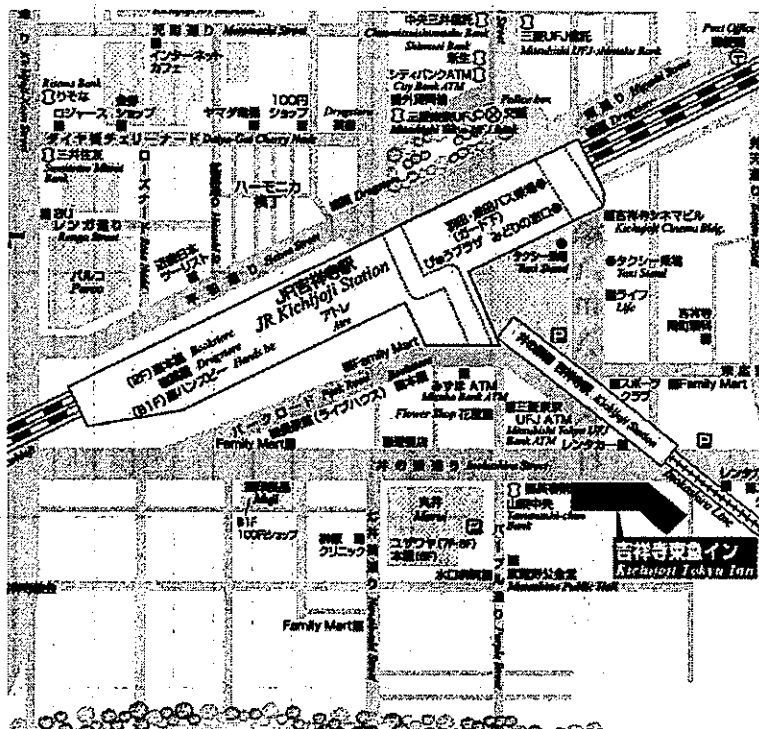


吉祥寺東急イン

東京都武蔵野市吉祥寺南町
1-6-3
TEL 0422-47-0109

<最寄り駅から>
京王井の頭線・JR中央線
吉祥寺駅から
徒歩1分

※富士見ヶ丘駅から吉祥寺駅
への移動は、京王井の頭線
で約15分



(別紙様式 1)

記入例

平成26年度コミュニケーション教育普及協議会～コミュニケーション教育フェスタ2014～ 参加者名簿

区市番号	県市名	氏名	所属・職名	グループ協賛テーマ	部分参加	備考
00	〇〇県	〇〇 〇〇	〇〇県教育委員会 ●●課 指導主事	③		
00	〇〇県	△△ △△	△△町教育委員会 ▲▲課 指導主事	④		
00	〇〇県	◇◇ ◇◇	◇◇町立 ◆◆小学校 教諭	①	○	11:30から
00	〇〇県	☆☆ ☆☆	◇◇町立 □□中学校 教諭	②		
00	〇〇県	〇〇 △△	NPO法人 ☆☆ 実演家	④		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 都道府県・指定都市番号を半角数字で記入 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 5px;"> 空白や「/」などはしない 「都」「道」「府」「県」「市」は省略しない </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 5px;"> 姓と名の間及び所属と職名の間は空白(全角) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 5px;"> 参加希望者が申請したグループ協賛テーマを入力する ドロップダウンリストから①～④の記号を選ぶ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 5px;"> 部分参加になる場合は、途中退席又は途中退席する時間を記入する </div>						
連絡担当者		〇〇 〇〇	〇〇県教育委員会 ●●課 指導主事	電子メール	abcde@pref.jp	

本件の連絡担当者の氏名、所属・職名、電子メールアドレスを記入する

※行が不足する場合は、適宜追加すること。
 ※ファイル名、電子メールの件名はともに、「都道府県・指定都市番号(半角数字) + 都道府県・指定都市名 + 【コミュニケーション教育フェスタ2014】」とする。
 例：13東京都【コミュニケーション教育フェスタ2014】
 ※提出期限：平成27年1月23日(金) 厳守

平成26年度

〔児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験〕について

(文化庁「文化芸術による子供の育成事業」のメニュー)



平成26年度予算額 1億5千万円

※「文化芸術による子供の育成事業」51億円の内数

芸術家による表現手法を用いた計画的・継続的なワークショップ等の実技指導を実施することにより、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うとともに、コミュニケーション能力の育成を図る。

【NPO法人等提案型】

国から委託を受けたNPO法人等が、学校における文化芸術活動のニーズを把握し、芸術家を派遣します。

【学校公募型】

学校が芸術家を選定し、芸術家の承諾を得た上で、国に事業申請します。

教育委員会等

- 実施校への指導・助言等
- 地域への周知・普及

協力

NPO法人等

- 学校のニーズに合わせて芸術家等をコーディネート
- 事前準備・事後評価を効果的に実施

指導・助言

小・中・高等学校等

- 芸術家や劇団員等と担当教師が連携し、計画的・継続的なワークショップ等を実施

- ◆国語・音楽等の教科，総合的な学習の時間，特別活動（学校行事等）

- ◆演劇，ダンス・舞踊，伝統芸能，大衆芸能，文学，メディア芸術，音楽，美術 等

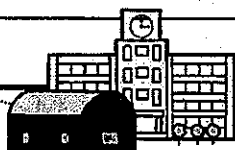
- ◆表現手法を用いた創作過程を含むワークショップの実施
- ◆年間3～12回実施

調整

芸術家等

- 芸術家・劇団員等の派遣

派遣



コミュニケーション能力の育成